

中医推拿療法セミナー
陳 雷 2024/11/10 (日)

- 一、中医推拿療法の臨床診察法——「按診」
- 二、推拿健康法——腹痛の改善と予防
- 三、胸痛心悸の改善における中医推拿療法の応用
- 四、推拿療法の基本手技の復習（その4）
- 五、推拿練功の紹介——「力劈華山（りきへきかさん）」

第一部分 中医推拿療法の臨床診察法——「按診（あんしん）」

一、按診と推拿療法

- 共通点：手技の運用
特 徴：「診治同用」

二、按診について

（一）按診の概念

- 手で直接患者のある部位を触圧して、局所の異常変化を理解し、それによって疾病の部位・性質及び病状の軽重を推定する一種の診断方法である。

（二）按診の手技

触法・摸法・按法・叩法

（三）按診の体勢

1. 患者の体勢：
2. 診察者の体勢：

（四）按診の内容

1. 触感

- ①寒熱感 ②潤燥感 ③腫脹感
④硬軟感 ⑤圧痛感 ⑥脈動感

2. 部位

- ①胸脇 ②腕腹 ③四肢 ④皮膚 ⑤腧穴

第二部分 推拿健康法——腹痛症の改善と予防

- 腧穴：中脘穴 関元穴 足三里穴 太衝穴
手技：①指圧法 ②按揉法

第三部分 胸痛動悸の改善における中医推拿療法の弁証論治

(一) 胸痛についての中医学的な考え

1. 部位についての考え

- 心臓・肺臓が胸部にある
- 宗気（膻中）が胸部にある
- 殆どの経脈は胸部に流注する

2. 病名についての考え

中医学の病名：胸痺（胸部に発生する鈍・麻・痛など異常感覚）

(二) 中医学の弁証

1. 症状

①胸が痛い、苦しい ②動悸、不安 ③他：呼吸苦しい、冷汗 など

2. 診察

- ①望診（状態、顔色など）
- ②按診（疼痛部位、など）
- ③問診（本人の痛み感覚、発作時間、など）
- ④脈診、舌診

3. 弁証

①病位 胸部・背部・肩部・上肢
心臓・肺臓・膻中・経脈

②病因病機

- ・病因：外感寒邪・飲食不調・情志刺激・過労・加齢・久病
- ・病機：心脈不通 心脈養

④正邪盛衰の確定

- ・実証（邪気の強盛）
- ・虚証（陽気の衰弱）

⑤寒熱病性の弁別

- ・熱証
- ・寒証

〔胸痛心悸の弁証のまとめ〕

「実証」①寒凝心脈 ②痰熱壅阻 ③心血瘀阻 ④気滞心胸

「虚証」①陽虚不足 ②心血不足

(三) 推拿療法の施治

1. 治療原則（治法）

「急則治標」 經脈疎通・行氣活血・寬胸止痛

「緩則治本」 補益臟腑、調和氣血

2. 推拿処方

①經脈（けい みやく）

主：任脈 心經 心包經 膀胱經 補：弁証選經

②腧穴（ゆ けつ）

■基本腧穴 膻中 巨闕 内関 神門 心兪 厥陰兪

■弁証配穴 [寒凝] 風池 風門 肺兪 肩井 外関 合谷 命門 腰陽関

[痰阻] 中脘 章門 足三里 豊隆 内庭 脾兪 胃兪

[氣血滯瘀] 期門 膈兪 肝兪 胆兪 太衝 血海 氣海

[氣血不足] 中脘 氣海 足三里 脾兪 胃兪 血海

[陽虚] 氣海 関元 太谿 腎兪 命門 腰陽関

③手技

一指禪法 揉法 按揉法 按法 拿法 捏法
摩法 推法 擦法 抹法 搓法 拍法

3. 推拿施治

順序：①側臥位（背腰部） ②仰臥位（胸腹部・四肢） ③座位（肩背腰部）

施療 ①側臥：背腰部 摩法 → 背部
一指禪/按揉法 → 腧穴
推法 → 督脈・膀胱經
擦法 → 背部

②仰臥：胸腹部 摩法 → 胸部
一指禪/按揉法 → 腧穴
抹法 → 胸部・腹部
擦法 → 胸部

③座位：肩背腰部 拿捏法 → 肩部
搓法 → 胸脇部
擦法・拍法 → 背腰部

第四部分 推拿療法の基本手技の復習（その四）

【關節類手技】 屈伸法 拔伸法 扳法 斜扳法 搖法 捻法

第五部分 推拿練功の紹介——「少林内功・力劈華山（りき へき か ざん）」

練功ポイント：姿勢・動き・呼吸・意念（イメージ）